

ご自由にお持す下さい

平成28年10月21日発行 第31号  
発行／総合青山病院(0533)73-3777  
印刷／株昭栄社印刷所

# ふれあい

<http://www.aoyama-hp.or.jp>



シリーズ第30回



## 半世紀

名譽院長 **瀬川 昂生**  
せ がわ こうせい

提唱し、中年者のメタボ解消と高齢者の健康寿命の延伸対策を進めつつあります。

当院は間もなく開設以来50年経ち、半世紀を迎えるとしています。今後も久しく、皆さまの身近にあって、お役に立てる病院であることに努めたいと思います。

当院に古くからかかっておられる患者さまから「青山さん」と呼んで頂くことがあります。当院は大病院ではありませんが、高度の医療設備を持つ小回りの利く民間病院で、皆さまのニーズに素早く応えることをモットーとしています。親しみを込めたこの呼び名はまさに当院に相応しいと感じます。「患者さま側に立つた全人的医療を目指します」、これが当院の理念であります。

昨今、世界は大変動時代に入り、

グローバル化が著しく、我が国も大きく変わりつつあり、医療分野も例外でありません。さらに今後も高齢化は進み医療需要は増え続けています。その様な中には、絶えず動きのある医療行政のもとで、私共は当院に相応しい役割を考え続けています。

「総合青山病院 病院年報」によれば当院は昭和42年に開設された青山医院から始まり、53年に病院となりました。



昨今の財政的理由により、増大し続ける医療需要の全てを満たすことが出来なくなりつつあります。例えば自治体病院は統合、転換、病床削減が次々となされています。世界一優れていると言われる我が国の国民皆保険制度を維持するため様々な改革がなされ、今後も続くものと思いま

す。そのため入院診療にかわり在宅医療、介護医療体制の充実が図られています。厚労省は「健康日本21」を

秋も深まり過ごしやすい季節となりました。今回は、今年度から発足しました看護部排泄ケア委員会について、お話をさせて頂きます。

食べることはもちろんですが、排泄することも人として生きていくためには必要な行為です。普段、当たり前の行為ですが、何らかの原因で、やむをえずオムツをしなくてはならなくなつたとき、心のダメージも大きいのではないかと思う。排泄に関する問題は、人が健康に

## 看護の現場から。 | vol.28

看護部排泄ケア委員会委員長  
西1病棟 看護師主任 二俣 千里

# 看護部排泄ケア委員会の紹介

生活していく上でとても大切であり、またとてもデリケートな問題です。

今まで看護部では、排泄ケアに関する研修を積極的におこない、排泄に関することで患者さまの苦痛が増強しないように取り組んできました。今年度はその活動の幅を広げ、スキルアップを目的とした委員会を発足させました。委員会活動としては、個別性に応じた適切な排泄ケアの介助を実践するための知識と技術の習得をめざし、看護職員を対象に年4回の研修を実践しています。内容は、オムツの基礎知識とあて方、排泄ケアの基礎知識、モレのメカニズム、排泄におけるスキンケア等です。

持つて、適切にされているかを委員会で確認し、必要に応じてアドバイスをしています。

このような活動を通して患者さまが少しでも不快な思いをすることなく、安心して療養生活が送れるように、個々の患者さまに適した排泄の自立を目指し、看護職員が協力し取り組んでいきます。

排泄ケア研修風景



おむつの種類の説明



おむつのあて方の演習風景



ビートルズによる  
最も偉大な遺産 CT装置  
1985年11月8日にW.C.レントゲン博士によってX線が発見されて以降、X線写真が医療に利用されるようになりました。当時は人体を透過して得られる写真是医学界において画期的な画像診断方法だったと推測されます。その画像診断のあり方を一変させたのが、X線CT装置です。

このX線CT装置を開発したのが、英国の大手レコード会社、EMI社であるということは意外な事実です。開発が始まつた

ビートルズによる  
最も偉大な遺産 CT装置  
1985年11月8日にW.C.レントゲン博士によってX線が発見されて以降、X線写真が医療に利用されるようになりました。当時は人体を透過して得られる写真是医学界において画期的な画像診断方法だったと推測されます。その画像診断のあり方を一変させたのが、X線CT装置です。

vol.29

# 医療技術

## NEWS

### 「進化するCT装置」

放射線技術室

技師長 安達 英俊

1960年代、EMI社にはビートルズが所属していました。その収益の一部をX線CT装置の開発に利用したことで、同装置を1972年に商用へこぎつけることができたとされています。この為、X線CT装置は「ビートルズによる最も偉大な遺産」と言われており、発明当時のX線CT装置は「EMースキャナ」と呼ばっていました。

当時のX線CT装置(EMースキャナ)は、撮影に5~20分、画像構成時間が1枚約5分程度かかり、頭部CT検査には30~60分を要していました。

最近では、実際に内視鏡を大腸の中に入れることなく、あたかも腸の中を観察したかのように調べることのできる仮想(バーチャル)大腸内視鏡CT検査も行われています。今後、検査時間が0.3秒以下という装置も出てきます。これにより、3D画像から4D画像(3D画像に時間を加味)へと進化していくでしょう。



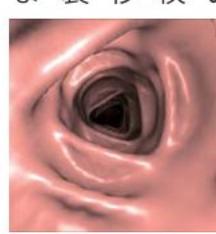
矢状断



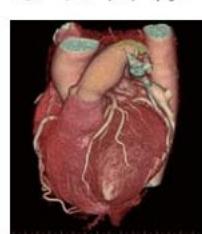
冠状断



骨



仮想大腸内視鏡



心臓



術中CT

十分確認でき深い部位や脊椎等の病変の手術用です。

### 総合青山病院のCT装置

当院のCT装置は、3D(立体)画像の作成や仮想大腸内視鏡CT検査、さらにカテーテルを使わずに心臓(冠動脈)の評価などに対応しており、診療に役立てています。また、当院にはCT装置が2台あり、普段診療に使用しているCT装置の他に、手術室にも専用のCT装置を備えています。これは全国的にも珍しい事例で、CT装置を手術室内に配置することで、手術中の病変部位除去の確認や、出血の有無の向上が期待できます。特に手術視野が非常に狭く周辺に重要組織があるなど、病変の広がりを確認などがリアルタイムに可能となり、手術の安全性、手術精度の向上が期待できます。特に手術視野が非常に狭く周辺に重要組織があるなど、病変の広がりを

る心臓の撮影もできるまでに進化しています。



# 新入職員 6ヶ月が過ぎて

平成28年4月、当院に新入職員が入職しました。オリエンテーションや各部門での研修を終え、それぞれの部署へ配属されました。皆さんにも温かく見守って頂けたらと思います。よろしくお願ひいたします。

## 看護師

### 寺西 未紗 (1病棟)



新人看護師として入職し、早くも半年が経過しました。優しくも厳しい先輩看護師の指導を頂き、日々反省・勉強を行い、患者さまに対して援助を行えるようになり、なぜ行う必要があるのかという根拠も学習することが出来ました。患者さまより「頑張ってね」とのお言葉を頂き、とても励まさざまより「頑張ってね」とのお言葉を頂き、とても励ました。優しくも厳しい先輩看護師の指導を頂き、日々反省・勉強を行い、患者さまに対して援助を行えるようになり、なぜ行う必要があるのかという根拠も学習することが出来ました。患者さまより「頑張ってね」とのお言葉を頂き、とても励ました。優しくも厳しい先輩看護師の指導を頂き、日々反省・勉強を行い、患者さまに対して援助を行えるようになります。

## 看護師

### 山田 裕菜 (1病棟)



私は現在、整形外科、泌尿器科、口腔外科の混合病棟で働いています。中でも整形外科の患者さんが多い為、解剖の理解を深めたい私にはピッタリだと思っています。患者さまと関わり看護をしていく中で、患者さんの笑顔や「ありがとう」の言葉を聞くたびに看護師になって良かったなと思います。覚えることも沢山ありますが、患者さまの為にも、まずは日勤業務を一人で確実にできる様に、毎日の経験を身に付けていきたいと思います。

## 看護師

### 牧野 友美 (2病棟)



新人看護師として働き始めて6ヶ月が過ぎました。学生のころと違い、責任の重さを実感しています。それと同時に、患者さまとの関わりの中で病状が回復し、笑顔で退院する姿に看護の喜びを感じています。わからないことも多く、落ち込むこともあります、先輩方の丁寧なご指導のおかげでできることも少しずつ増えてきています。患者さまが安心して療養生活が過ごせるよう、これからも一生懸命学び、頑張っていきたいと思います。

## 看護師

### 橋本 京子 (2病棟)



2病棟に勤め、早くも6ヶ月が経ちました。慣れない仕事、忙しい業務の中で、不安に思うこともありますが、優しい先輩や新人仲間の支えがあり、乗り越えていくことができました。知識や技能はまだ未熟ですが、自分が行ったことで患者さまの笑顔が見られた時は、自信ややりがいを感じられます。患者さまにとって最善の看護を考えられる先輩方は、いつでも私の目標です。これから更に勉強と経験を積み、患者さまの求めるものを考え、安心につながる看護を提供していくよう努めたいと思います。

## 看護師

### 川澄 雅 (2病棟)



4月から新人看護師として働き始め、6ヶ月が過ぎました。学生の時とは違う責任の重さを感じながらも、患者さまから「ありがとう」と言っていただくことができ、看護のやりがいを強く感じています。知識や技術の不足から悩むこともありますが、先輩方は1つ1つ丁寧に指導してくださいます。毎日多くのことを学び、少しづつ行える業務も増えていくことに、日々の充実を感じています。今後も患者さまの立場に立って、より良い看護を提供していくよう、一生懸命努力していきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



### 看護師

**青木 美穂** (西1病棟)

初めは毎日不安と緊張でいっぱいでしたが、先輩方が優しくご指導してくださるおかげで安心して仕事ができ、少しずつ自信を持てるようになりました。学生時代の実習では経験できなかった他職種との連携や家族看護を学ぶことができ、私もチームの一員として貢献できるよう、日々業務に励んでいます。まだまだ知識も技術も未熟ですが、患者さまに寄り添った看護を提供し、患者さまが笑顔で安心して退院できるよう、これからも努力していきたいです。

### 看護師

**春田 あや香** (3病棟)



本年度4月から新入看護師として働き始めて、早くも6ヶ月が過ぎました。学生の頃とは違い責任を負う立場となり、初めは慣れない環境の中で不安も多くありました。しかし今では、学生の頃ではできなかつたことができたり、学生の頃と比べて、患者さまと接する時間も多くなり、感謝の言葉を頂いたりすると、とてもやりがいを感じます。時に心が折れそうになることもありますが、優しい先輩方のサポートがありますが折れそうになることができました。まだまだ未熟ですが一生懸命頑張っていきたいと思います。



### 看護師

**中川 侑美** (手術・中央材料室)

看護師として働き始め、6か月過ぎました。手術室に配属と聞いて、はじめは、在学中には経験することのない環境に不安がとても強かったです。実際に配属されて、分からることはばかりで覚えることがたくさんありました。先輩方が優しく指導してくださり、日々頑張っています。病棟に比べ、患者さまとの関わりは手術中という短い時間ですが、手術への不安や術後のことを考え手術前から患者さまに寄り添った関わりができるよう、知識と技術を身につけ一生懸命頑張っていきたいと思います。

### 看護師

**井立 崇之** (西2病棟)



新人として入職し早6か月が過ぎました。最初は緊張と不安が強く、上手くやっていくかどうか心配でした。しかし、病棟の先輩方の助言や、細やかな指導のおかげで、少しずつではありますが看護師として成長し、患者さまから「ありがとう」とのお声を掛けて頂く機会もあり、看護の喜びを感じています。まだまだ看護師として未熟ではあります

が少しずつ技術・経験とともに成長し、患者さまによりよい看護を提供できるように頑張っていきたいと思います。



### 薬剤師

**森田 浩美** (薬局)

4月から薬剤師として総合青山病院で働きはじめ早くも6ヶ月となりました。学生時代に学んだことと実際の医療の現場で求められる知識との間でギャップを痛感しつつも、先輩方の温かいご指導のもと少しずつではありますが、日々できることができ、充実した毎日を過ごしています。まだまだ知識や経験不足から至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることが多々あるとは思いますが、患者さまや他職種の方から信頼される薬剤師となれるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



### 理学療法士

**中島 利泰**

(リハビリテーション技術室)

本年度から理学療法士として働きはじめてから、あっという間に6ヶ月が過ぎました。入職後すぐに患者さまを担当させていただき、日々の忙しい業務の中で患者さまの治療に携わる難しさや責任の重さを感じています。治療が思うように進まず悩むこともありますが、先輩方からの優しく丁寧な助言やご指導のおかげで充実した日々を送っています。向上心を持って知識や治療技術を高めていき、患者さまの立場に寄り添ったりリハビリテーションを提供できるように、努力し続けていきたいと思います。



### 臨床工学技士

**倉橋 陸也**

(透析・血液浄化センター)

本年度から透析センターで臨床工学技士として働き始め6か月が過ぎました。学生時代とは違い、自分の行動や発言に責任が伴つてるので不安と緊張でいっぱいでした。しかし、先輩方のご指導のおかげで透析業務も徐々に慣れ、患者さまとのコミュニケーションもうまく取れて今では充実した日々を過ごしています。まだまだ、勉強不足で至らない点もあり、ご迷惑を掛けてしまいますが、強不足で至らない点もあり、ご迷惑を掛けてしまいますが、「患者さま側に立った全人的医療」を心掛けて一人前の医療人になれるよう努力していきたいと思います。

はじめて！



サイバーナイフセンター  
はたのまなぶ  
**波多野 学** 副センター長

医学博士  
日本脳神経外科学会専門医

●メッセージ●

サイバーナイフ、その他の放射線治療について、やさしく、わかりやすく説明し、対応していきます。気軽に相談してください。

経歴

平成 6年	岡山大学医学部卒業
平成15年	ピッツバーグ大学留学
平成 6年	一宮市立市民病院 脳神経外科
平成17年	県立多治見病院 脳神経外科
平成18年	藤枝平成記念病院 脳神経外科、放射線科
平成24年	すずかけヘルスケアホスピタル 脳神経外科、リハビリ科
平成26年	名古屋共立病院 放射線外科
平成28年	総合青山病院 サイバーナイフ副センター長

第29回

# 知っ得!! 情報

地域医療連携室 主任 社会福祉士 立松 実

## 来年春に豊川市内に 特別養護老人ホームが 3か所できます

地域医療連携室では、在宅での介護が困難となった患者さまの施設入所の相談をよくお受けします。豊川市内でも特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅など、いろいろな種類の施設が50か所ほどあります。それぞれの施設に特徴があり、対象となる患者さまの状態も違います。

費用がやや高い有料老人ホームには空きがあるところもありますが、ほとんどの施設が常に満床です。特に入所費用が安価である特別養護老人ホームは待機期間が長く、申し込みをしてもなかなか入所できない状況です。

そんな状況の中、豊川市内で来年3月に特別養護老人ホームが3か所開設します。

特別養護老人ホーム いちごの花  
豊川市宿町

特別養護老人ホーム 光楽苑  
豊川市牛久保町

特別養護老人ホーム れんげそう  
豊川市平井町

【入所対象者】

豊川市在住で、原則、要介護度3～5の認定を受けている方

【受けられるサービス】

常時介護が必要な方に対して、食事・入浴・排泄等の日常生活上の支援・介護や健康管理が受けられ、長期的な入所が可能。

【費用】

入所時の費用は不要。

月額利用料は、居室の設備、世帯収入や課税状況によって変動。およそ5万円(※還付を受けた場合)～14万円程度。

いずれの施設も平成29年3月開設予定です。

今年秋頃から入所者の申し込みが始まる見込みです。

詳細は豊川市役所介護高齢課や担当のケアマネージャー、高齢者相談センターなどにお問い合わせ下さい。

# 情報ステーション

Aoyama Hospital Information Station

## 第7回 健康教室 のお知らせ

### テーマ 「ピロリ菌と胃の病気— 胃炎、胃潰瘍、胃がん」

講師 総合青山病院 名誉院長

瀬川 昂生 先生



日時 平成29年2月22日(水)  
15:00~

場所 総合青山病院 健診センター 4階  
多目的ホール

(事前に健診センターへお申込み下さい。)

お申込み TEL 0533-73-3784

参加  
無料

## 遊びの広場

### 数独の解き方

- タテ 9列、ヨコ 9列のそれぞれに 1~9までの数字が 1コずつ入ります。
- 太線で区切られた 3×3 の枠内（マスは 9コ）にも 1~9までの数字が 1コずつ入ります。
- 従って、タテ、ヨコ、枠内で、同じ数字が重複して入ることはありません。  
とにかく、算数無用、注意力の勝負、なるべくラクをして、かつスマートに解いていきましょう。

### 数独

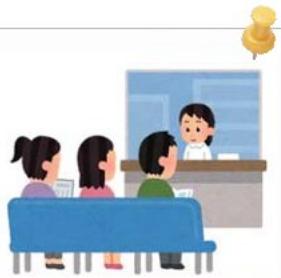


答えは8ページ目をご覧ください。

			3	8				2	7
			6	5					
5						4			
	5						9		
6			3					5	
	7						3		
2					9				
		7	2						
	8	5					6	1	

**ご意見**

個人情報のこの時代、待ち合いの場所で名前を呼ぶのを改善した方がいいと思う。病院に来ることを知られたくない人がフルネームで呼ばれたら、嫌な人も多いと思う。

**ご意見&ご要望****ふれあい箱の回答**

たくさんの  
ご意見ありがとうございます。

**ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。**

氏名での呼び出しを希望されない場合は外来受付に申請していただくよう初診時にご案内致しております。申請がある患者さまは患者番号での呼び出しとさせて頂いております。

**ご意見**

健診センター1階受付の待合室の温度が少し高いように感じた。更衣室の前の椅子では快適温度でした。

ご意見ありがとうございます。

体感温度を考え、今まで以上にこまめに温度管理をしていきます。

**お褒めの言葉**

温かいお言葉をありがとうございます。  
今後も、患者さま側に立った医療を目指します。

**2病棟 入院患者付き添いさま**

入院3日間でしたが、大変感じよく思いました。ありがとうございました。

**遊びの広場の解答**

4	6	3	8	9	1	5	2	7
9	8	2	6	5	7	1	4	3
5	1	7	2	3	4	6	9	8
3	5	1	4	7	2	9	8	6
6	2	9	3	1	8	7	5	4
8	7	4	9	6	5	3	1	2
2	3	6	1	8	9	4	7	5
1	4	5	7	2	6	8	3	9
7	9	8	5	4	3	2	6	1

**編集後記**

雨の日が続き、一気に秋らしさが増して参りました。本誌ふれあい31号が皆さまのお手元へ届くころには、もう少し涼しくなっている頃でしょうか。

今年の夏は、選挙権年齢が18歳以上に改まって初の国政選挙である参議院議員選挙、高校球児が躍動し多くのドラマが生まれた甲子園など、若い世代にスポットライトが当たりました。また地球の反対側で行われたオリンピック・パラリンピックでも、多くの種目や競技で活躍した若い世代に日本中が熱くなりました。

本誌内で紹介いたしましたとおり、当院でも今年度に入職した若い世代が活躍しておりますので、温かい目で見守ってください。これからも活気のある病院を目指して参ります。

**病院の理念**

患者さま側に立った全人的医療を目指します

**基本方針**

地域の中核病院として安全で質の高い医療に努めます  
患者さまが安心出来るゆきとどいた診療を提供します  
患者さまに信頼されるゆきとどいた看護を提供します  
患者さまに満足されるゆきとどいたサービスを提供します  
患者さまがやすらげる快適な環境を提供します

**患者さまの権利**

- 適切で質の良い医療を受ける権利を有します
- ご自分の医療の内容について知る権利と説明を受ける権利を有します
- ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します
- ご自分の医療について他の医師の意見を聞く権利を有します
- 人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します
- ご自分の診療録の開示を求める権利を有します